



こちらからも
アクセスできます

主な内容

- ◆議案審議 1・3面
- ◆陳情・意見書 2面
- ◆一般質問 4・5・6面
- ◆所管事務調査 7面
- ◆議決結果一覧表 8面

第2回(6月) 定例会会議

令和8年6月4日から23日までの20日間の日程で開催された第2回(6月)定例会会議の審議結果などをお知らせします。

はだのスポーツビレッジ条例を制定



『夏空と水無川(庁舎前人道橋)』

議案審議

はだのスポーツビレッジ設置に向けた 条例の制定と指定管理者を指定

議案第30号 はだのスポーツビレッジ条例を制定することについて

▼主な内容

市民の健康増進やスポーツ環境の充実、スポーツを通じた渋沢丘陵の魅力向上を図るため、はだのスポーツビレッジを設置するとともに、管理および運営の基準を定めるもの。

▼付託委員会

総務常任委員会

▼本会議での反対討論

利用できる曜日や時間帯が限られており、市民の利便性が十分に確保されていないため、反対する。

▼本会議での賛成討論

本施設は、湘南ベルマーレスポーツクラブが多額の資金を投じて

整備し、市へ寄付されることで市民も利用できる施設となるものであり、市としても有益な案件であるため、賛成する。

▼採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)
本会議 原案可決(賛成多数)

議案第35号 指定管理者の指定について

▼主な内容

はだのスポーツビレッジの設置に伴い、特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブを指定管理者とするもの。

▼付託委員会

総務常任委員会

▼本会議での反対討論

指定管理期間が30年と長期で、

永年勤続議員表彰

令和8年5月27日の全国市議会議長会定期総会において、高橋文雄議員が勤続45年以上、吉村慶一議員と風間正子議員が勤続30年以上、相原學議員が勤続10年以上の表彰を受けました。
(掲載は、勤続年数・議席順)

○高橋文雄議員(勤続45年以上)

昭和9年生まれ。当選12回。はだの清流クラブ。議長(2回)、総務常任委員会委員長などを歴任。大秦町在住

○吉村慶一議員(勤続30年以上)

昭和30年生まれ。当選8回。無所属。建設水道常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長などを歴任。南矢名在住

○相原 學議員(勤続10年以上)

昭和22年生まれ。当選3回。はだの清流クラブ。議長、副議長、総務常任委員会委員長などを歴任。菩提在住

○風間正子議員(勤続30年以上)
昭和21年生まれ。当選8回。市政会。議長、副議長、文教福祉常任委員会委員長などを歴任。渋沢三丁目在住



高橋文雄議員



吉村慶一議員



相原 學議員



風間正子議員



はだのスポーツビレッジ



詳しくは
こちら

陳情・意見書



詳しくはこちら

地方財政の充実・強化を求める陳情は趣旨了承

令8陳情第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

令和9年度の政府予算と地方財政の検討に当たり、増大する行政

需要に対応した財源確保を念頭に、より積極的な地方財政の確立を求めるため、国に意見書を提出してほしい。

▼採決の結果
本会議 趣旨了承（賛成全員）

公立中学校の平和教育および校外学習の政治的中立性などを求める陳情は不採択

令8陳情第3号 公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情書

▼願意

平和教育は、結論ありきの指導を避け、事実に基づく政治的中立性のもとで、子どもたちが発達段階に応じて多面的・多角的に考え、自ら公正に判断する力を育むこと。また、校外学習では、生徒や保護者への十分な説明と学校主体の安全確保を徹底することを求める。

▼付託委員会

文教福祉常任委員会

▼委員会での主な意見

公立中学校における平和教育の政治的中立性の確保と、修学旅行・校外学習の安全管理の徹底は、本市で既に対応できている事項である。また、保護者視点の政治的中立性という表現は曖昧で、特定の政治的立場や価値観の強要につながる危険性があるため、不採択とすべきである。

▼採決の結果

委員会 不採択（賛成なし）
本会議 不採択（賛成なし）

司法修習生採用選考審査基準に国籍条項を設けることを求める陳情は不採択

令8陳情第5号 「司法修習生採用選考審査基準」に国籍条項を設けることを求める意見書提出に関する陳情書

▼願意

外国籍保有者が司法修習生になれることは、国家安全保障上の重大な問題であるため、司法修習生採用選考審査基準に国籍条項を設けることを求める意見書を国に提出してほしい。

▼付託委員会

総務常任委員会

▼委員会での主な意見

検察官と裁判官には従前から日本国籍が必要とされている。司法修習生採用選考審査基準に国籍条項を設けることは、外国籍保有者の弁護士への道を閉ざすため、人権や平等、司法の多様性の観点から、不採択とすべきである。

▼採決の結果

委員会 不採択（賛成なし）
本会議 不採択（賛成なし）

教職員定数の改善などを求める意見書を提出

令8陳情第4号 子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書

▼願意

中学校35人学級の確実な実施と小学校30人以下学級の実現、教職員定数の改善やスクールカウンセラーなどの配置拡充、地方財政の確保と義務教育費国庫負担制度の国負担割合（2分の1）の復元を求める意見書を国に提出してほしい。

▼付託委員会

文教福祉常任委員会

▼委員会での主な意見

少人数学級の推進、不登校児童・生徒などに向き合うスクー

在の教育現場に必要な教職員定数の見直しを行い、子どもたちが安心して学ぶことができる環境を整備するためにも、採択すべきである。

▼採決の結果

委員会 採択（賛成全員）
本会議 採択（賛成多数）

この陳情を受けて、次の意見書を国に提出しました

教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

（中略）
国においては、次の事項の実現に向け特段の措置を講じられるよう要望するものである。

- 子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、行き届いた教育を実現するため、中学校35人以下学級を確実に推進するとともに、学級編制の標準を更に引き下げ、30人以下学級の実現を図ること。
 - 持続可能な学校運営体制を確立するため、「乗ずる数」の見直し等を含めた検討を行い、抜本的な教職員定数改善を進めること。
 - 不登校児童・生徒を含む全ての子どもたちがいつでも安心して学ぶ環境を整えるため、校内教育支援センター支援員や専門性を有するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充し、常勤化を進めること。
 - 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月23日（以下略）

議会だよりへの

御意見



募集中



「マチイロ」で議会だよりが読めます

スマートフォンやタブレット端末で手軽に読めるアプリ「マチイロ」で、議会だよりを配信しています。ぜひご利用ください。

※通信料は利用者負担となります

ダウンロードはこちらから！



請願・陳情の提出

請願・陳情とは、市民の皆さまが市政に関する要望や意見を議会に伝えるための制度です。審査は、原則として所管する委員会に付託し、最終的に本会議で結論を出します。（請願には紹介議員（1人以上）が必要です。）

●提出方法



詳しくはこちら

※郵送または電子申請による陳情書は、本会議の議題とせず、全議員へ配付の取り扱いとなります。

請願（陳情）者には審査結果をお知らせするとともに、採択された場合は国（国会・関係行政庁）、県知事などに意見書を送付します。

令和8年9月第3回定例月会議で審査する請願・陳情の提出期限は、
令和8年8月20日（木）午後5時までです。

政務活動費の収支をお知らせします



政務活動費は、議員の調査研究その他の活動を行う経費の一部として交付されます。本市では、会派または議員に対して、一人当たり年額42万円（月額35,000円）を交付しています。

令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

会派等	交付額（円）	執行額（円）	執行率
市民創和会（旧創和会・市民クラブ）	2,940,000	2,227,874	76%
市政会（旧志政会）	2,835,000	2,154,649	76%
ともに作る秦野	1,680,000	1,514,318	90%
公明党	1,260,000	991,500	79%
はだの清流クラブ	105,000	28,864	27%
吉村慶一議員	420,000	420,000	100%
伊藤大輔議員	350,000	250,112	71%
石川潤議員	420,000	284,995	68%
合計	10,010,000	7,872,312	79%

※残額は市に返還されます。

※伊藤大輔議員が令和8年1月18日付けで辞職。

※令和8年2月6日付けで、今井実議員、高橋文雄議員、相原學議員が志政会を退会し、はだの清流クラブを結成。

収支報告書など、
詳細はこちらから
アクセス➡



議長公務（6月～8月）

より詳細な公務日程は、市議会ホームページでも公開しています。



相原 學議長

各種式典や総会を通じて、地域を支える皆さまの熱意に触れる機会をいただきました。これからも皆さまと一緒に活力あるまちづくりに努めてまいります。

○6月

- 19日（金） 秦野市交通安全協会第77回通常総会
- 20日（土） 秦野商工会議所女性会創立40周年記念式典
- 26日（金） 秦野市観光協会令和8年度通常総会
- 28日（日） 公募第56回秦野美術協会展表彰式

○7月

- 1日（水） 秦野警察署創立100周年・秦野地区警察官友の会創立40周年記念式典及び祝賀会
- 10日（金） 全国市議会議長会第170回地方財政委員会
- 25日（土） 第12回全国女子中学生硬式野球選手権大会開会式
- 26日（日） はだのスポーツビレッジオープニングイベント
- 28日（火）～29日（水） 県央八市議会議長連絡協議会定例会・議長研修会

○8月

- 8日（土） 夏休み子ども議場見学会

議案審議

(議案審議は
1面にも掲載)



可決 物価高騰対策などに係る補正予算を

議案第36号 令和8年度秦野市一般会計補正予算(第1号)を定めることについて

▼主な内容

物価高騰が続く中、市民の暮らしを守り、地域経済の活性化を図るため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した物価高騰対策の実施などを目的に、歳入歳出それぞれ5億3293万7千円を追加するもの。

物価高騰対策一覧

地域脱炭素推進事業費 4,125万2千円		省エネ家電への買い換えに係る経費の一部を支援
電子地域通貨事業費 2億1,644万円		OMOTAN コインを活用した「チャージ即時ポイント付与キャンペーン」、「ウェルカムキャンペーン」、「プレミアムポイントバックキャンペーン」などを実施
水道事業会計補助金 2億4,000万円		令和8年3月から8月検針分で実施している水道料金の減額を10月まで2か月間延長

▼付託委員会
予算決算常任委員会

▼修正動議の提出
吉村慶一議員・石川潤議員から、地域脱炭素推進事業費および電子地域通貨事業費を削除する補正予算修正動議が本会議に提出された。

▼本会議での賛成討論
【原案に賛成】
提案された3事業は、水道料金

の減額、OMOTAN コインを活用した各種キャンペーン、省エネ家電の買い換え支援といった、物価高騰の影響を受けている市民や事業者の負担軽減と地域経済の活性化につながる内容であることから、原案に賛成する。

【修正案に賛成】

OMOTAN コイン事業や省エネ家電の買い換え支援は、限られた一部の市民のみ恩恵を受けるものである。物価高騰対策のための交付金は、本来、低所得者への給付などに充てるべきと考えるため、修正案に賛成する。

▼採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 修正案否決

(賛成少数)
(賛成多数)

佐藤直樹教育長を再任

議案第37号 秦野市教育委員会教育長の選任について

▼主な内容

佐藤直樹教育長の任期が令和8年8月31日に満了するため、同教育長を再任するもの。

▼採決の結果

本会議 同意(賛成全員)



佐藤直樹教育長

地域型保育事業の設備および運営基準についての条例を一部改正

議案第31号 秦野市地域型保育事業の設備及び運営の基準を定める条例等の一部を改正することについて

▼主な内容

国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、みなし保育士の対象に理学療法士などを追加するとともに、満3歳以上満4歳に満たない児童に対する保育士などの数に関する経過措置の期間を令和10年3月31日までとするため、改正するもの。

▼付託委員会

文教福祉常任委員会

保健福祉センター空調設備の更新に向けた工事請負契約の締結を可決

議案第32号 工事請負契約の締結について

▼主な内容

保健福祉センターの空調設備の更新と、それに伴う機械設備工事、電気設備工事および建築工事を行うため、工事請負契約を締結する

▼付託委員会

総務常任委員会

▼採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)
本会議 原案可決(賛成多数)

矢坪沢水路整備に係る工事請負契約の変更を可決

議案第33号 工事請負契約の変更について

▼主な内容

矢坪沢水路整備工事(第3工区)において、道路を横断する水路構造物の布設工を追加することに伴い、請負契約金額を増額変更するもの。変更後の契約金額は25億8331万4800円(変更前の契約金額から、3億2831万4800円の増額)。

▼付託委員会

環境都市常任委員会

▼採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)
本会議 原案可決(賛成多数)



令和8年6月時点の様子



▼採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)
本会議 原案可決(賛成多数)

傍 聴

本会議および委員会の傍聴ができます。

本会議は、障害のある方や乳幼児を連れた方なども傍聴しやすいように、車いす用のスペースや傍聴受付横に別室も用意しています。定例月会議日程(6面下段)をご確認のうえ、お越しください。



請願・陳情の提出

請願・陳情は市政に関する要望や意見を議会に伝えるための手段です。

令和8年9月第3回定例月会議で審査する請願・陳情の提出期限は、

令和8年
8月20日(木)までです。

詳しい提出方法は2面中段をご覧ください。



議 会 に 参 加 し て み ま せ ん か

録画中継

本会議のインターネット配信を行っています。

生中継のほか、過去の録画中継もありますので、ご都合にあわせてご覧ください。



令和8年9月 第3回定例月会議日程

次の定例月会議は、

令和8年
9月2日(水)～30日(水)

詳しい会期は6面下段をご覧ください。



横溝 泰世
(市民創和会)



放課後児童クラブの在り方について

要 障害児受入推進事業では、職員配置や資格などに基づき事業所へ運営補助がされている。誰一人取り残さない児童保育のために、職員の研修機会の確保や資格取得に向けた環境づくりを求める。

給食の遺伝子組み換え食品について

問 遺伝子組み換えは技術開発の一方、安全性の面で課題を抱えている。安全性の調査・確認、また、当事者や保護者への報告はどのようなか。

答 メーカーへの調査は実施していないが、納入事業者には食材の規格書の提出を求め、適正な管理を行っている。保護者などへの報告については、規格書や基準を市ホームページに公開するなど、情報発信に努める。



間地 薫
(公明党)



健康で笑顔のまちづくり

問 身近な公園における健康器具の設置状況は。

答 184公園のうち22か所に設置。市ホームページに掲載し、遊具更新時には市民へ選択肢の提示を。

問 部活動地域移行の現状と指導者は。

答 令和7年度末時点で、86部活動のうち84%に着手している。指導者は、東海大学・地域・スポーツ協会との連携により、指導をお願いしている。

要 はだのっ子の笑顔と成長のために、魅力的な部活動を創出してほしい。

問 若者支援は、本人や家族とのつながりを絶やさず、サポートし続けることが重要と考えるが、見解は。

答 どのようなに関わり続けることができるか検討していく。



桑原 昌之
(ともに作る秦野)



全庁で2030次期学習指導要領改訂に向けた準備を

問 次期学習指導要領改訂に向け、新しい学びの価値観を教職員や保護者、地域にどう浸透させ、子どもたちの※ウェルビーイング向上に結びつけるのか。

答 第4次教育振興基本計画に基づき、行政・議会・地域と共にワンチームで取り組み、本市独自の「はだのメソッド」と国の方針を融合させながら、子どもたちが「秦野で育ち学んでよかった」と思える新たな学び舎づくりを目指す。

要 コミュニティ・スクールや自治会、商店会なども連携し、学校を中心とした関係人口を増やす全庁的なアプローチを進めてほしい。



小菅 基司
(市政会)



みらいの学び舎づくりの推進を

問 学校施設は、広く地域に開かれ、学校以外の機能の複合化を前提としているため、今後さらに民間の力を活用すべきと考えるがどうか。

答 学校整備において有効な手法の一つである※デザインビルド方式などの公民連携の活用事例や導入効果を検討し、最適な事業手法の選定に向け、オール秦野で取り組む。

問 今後、学校施設としての役割を終える広畑小学校の跡地活用を考えは。

答 地域の意見を丁寧聞き、地域コミュニティや防災など、さまざまな視点から検討を進める。

要 これからの学校は、子どもから大人までが集う地域の拠点になるよう全庁的に取り組むことを要望する。



石川 潤
(無所属)



未来に向けた教育環境づくりを

問 学校内の児童・生徒用更衣室の設置状況と、将来的な学校整備に向けた設置に対する考えはどのようなか。

答 転用可能な部屋や、使用していない特別教室などを更衣室として活用している。将来的な学校整備では確保すべき部屋であると考えている。

問 中学校における制服の現状はどのようなか。

答 現在2つの中学校が自由化となっているほか、男女の区別なく着用可能な制服を導入した学校がある。

問 かなちゃんパス購入に対する市からの補助について、基本的な考えは。

答 かなちゃんパス購入への補助ではなく、高齢者の外出を後押しする移動支援の充実に努める。



吉村 慶一
(無所属)



移動図書館たんざわ号の復活を

問 たんざわ号は7年前に50年の歴史に幕を下ろしたが、私は仲間とともに6年間、社会実験として軽自動車の移動図書館を運行した。「図書館の循環」を目的とした小型移動図書館には大きな可能性がある。図書館を資源回収の一品目とし、幼稚園などを対象に絵本の移動図書館や宅急便を市が行えば、多くの子どもが本に親しめると思うがどうか。

答 実施は難しいと考える。当面は団体貸出に力を入れたい。

要 団体貸出の実績は令和6年度で約2500冊と聞くと、令和7年度は我々の実績は約5500冊である。まずは児童館図書更新のため市と協働したい。検討を願う。



中村 英仁
(公明党)



郷土愛の醸成について

問 少子高齢化・人口減少が進む中、自治体間の住民競争が激化しているが、人口の奪い合いではなく、市民や子どもたちの郷土愛醸成が重要であると考えている。小・中学校におけるふるさとへの誇りと愛着を育むための取り組みはどのようなか。

答 地域とともにある学校づくりの推進を掲げ、※秦野ふるさと科(仮称)の取り組みを進めている。地域の支援も得ながらふるさと秦野の魅力を学ぶことができるよう、特色ある教育活動の充実に努める。

要 郷土愛の醸成には、秦野を知ってもらう体験型コンテンツが必要と考へる。関係各課が連携し、秦野が大好きなはだのっ子を増やしてほしい。



原 聡
(ともに作る秦野)



未来へつなぐ安全・安心のまちづくり

問 貴重な歴史資料や文化財をどのように未来へ継承していくのか。

答 歴史的価値を調査した上で寄贈を受けるなど、資料の散逸防止に努め、資料の状態や活用の可能性を踏まえて、関係機関と連携しながら適切に保存していく。

問 市道71号線における通学路の歩道整備や踏切の安全対策はどのようなか。

答 未整備区間の整備や踏切の拡幅を進め、児童・生徒だけでなく、誰もが安全に通行できるバリアフリーに配慮した歩行空間の確保を図る。ほか、消防団について、入団促進に向けた広報の充実や、新入団員を対象とした防災士資格取得費用の補助を要望した。



用語解説

※ウェルビーイング…心身の健康や人とのつながり、暮らしやすさなどを含めた、総合的に良い状態・幸せな状態。
※デザインビルド方式…建物の設計と施工を単一の事業者に一括して発注する建設手法。
※秦野ふるさと科(仮称)…自然や歴史、平和学習など、秦野ならではの学びを9年間系統立てて課題解決する本市独自のカリキュラム。



風間 正子
(市政会)



大学との連携について

問 上智大学短期大学部閉学後の、大学連携の方向性はどのようなか。

答 英語学習支援などは他の学生や団体の協力を得て継続を検討しつつ、新たな連携に向け協議を進めていく。

市民の健康寿命を延ばす取組について

問 朝食の欠食は生活習慣病のリスク増加にもつながるが、本市における食育の取り組みはどのようなか。

答 第4次食育推進計画に基づき、乳幼児期から発育段階に応じた食育を進めるとともに、講演会などを通じて保護者への啓発を行い、規則正しい食習慣の定着を支援していく。

要 親子で食を学ぶ機会の充実を。ほか、曽屋水道記念公園について、さらなる魅力発信を要望した。



阿蘇 佳一
(市民創和会)



虐待・薬物・災害から命を守る対応を

問 県の児童虐待相談件数は8784件、大麻摘発件数6832人、うち中学生28人、高校生350人。闇バイトでは高校生が69歳の貴い命を奪ったが、命を守る取り組みは。

答 薬物防止教育の推進や、警察署の協力による非行防止教室を開催予定。飲食料品の値上げが1万品目を超える見通しだが、支援策は。

答 水道料金の減額、省エネ家電への買い換え、OMOTANコインの利用促進支援を行う。

問 令和6年の台風第10号の被害を踏まえ、鶴巻温泉駅や東海大学前駅周辺の対応状況はどうか。

答 みんなでつくる防災マップの作成、土のうステーションの増設を実施。



福森 真司
(市民創和会)



市民を犯罪から守る対策を

問 闇バイトや薬物汚染の抑止啓発、地域防犯体制の強化はどのようなか。

答 タブレット端末の活用や犯罪防止教室など、関係機関と連携し、あらゆる機会を通じた啓発を行うことで、未然防止に努める。また、民間団体の専門性を生かした体験活動を充実させ、課題解決につなげる。

要 子どもたちが被害者・加害者にならないための防止策を講じるとともに、学校・家庭・地域が警察などのパイプを太くし、安全・安心なまちづくりを迅速に推進してほしい。ほか、林野火災の検証と今後の防火体制の強化、水道管の漏水・老朽化対策について質問し、関係団体との連携強化に努めるよう要望した。

一般

一般質問は、6月16日～18日の3日間で行われ、20人の議員が質問した。（質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載。）

なお、各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、一般質問の要旨が確認できます。
※要望は「要」と掲載しています。

一般質問発言ワードランキング

- 1 地域
- 2 学校
- 3 支援

※定型表現を除外し、純粋な政策に関するキーワードに絞って検索した結果。



生成
聞い



八尋 伸二
(市民創和会)



市内の屋外ヤード（資材置場）の状況について

問 昨今、全国的に屋外ヤードのトラブルが問題となっており、本市でも懸念されるが、「秦野市まちづくり条例」の建て付けはどのようなか。

答 建築工事を伴わない土地利用について、敷地面積が500平方メートル以上となった場合に許可が必要だが、未満足と許可は必要ない。

問 政府は、屋外ヤードのトラブルに対し、どのような検討をしているか。

答 政府は規制をかけるため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部を改正する法律案」を国会に出し、現在審議中である。

要 国の法整備が遅れるようであれば、本市として何らかの検討を望む。



古木 勝久
(ともにつくる秦野)



農業振興のための鳥獣被害対策を

問 鳥獣被害対策では公の役割を明確化するために、専門的な職員やガバメントハンターの配置を急ぐべきと思うがどうか。

答 人材や財源には限りがあるため、委託やJAはだの、専門家などの協力を得て最適な体制を検討していく。

問 4月13日に本市と県警が共催し、猟友会などが参加して実施した緊急銃猟訓練は、国の緊急銃猟ガイドラインに沿い、平時の机上訓練や研修、住民への注意喚起を一体的に行うべきだったと思うが、今後の対策は。

答 早期にマニュアルの整備を進め、適切な体制を整えていく。

ほか、震生湖の周辺整備について、※グリーンインフラ導入を要望した。



高橋 文雄
(はだの清流クラブ)



畦畔の管理について

問 平成12年から5年間かけて国有※畦畔の無償譲渡が進められたが、現在、畦畔はどのような体制で維持管理されているか。

答 公共物に付随する畦畔は、管理者である国、県および市町村が所有し、機能管理も行っている。農地畦畔および分譲地などに接する畦畔は国が所有し、農地所有者や住宅所有者が日常的な維持管理を行っている。

要 市道に面した畦畔は、国と市有が混在している場合があり、管理者が分かりにくい。市有畦畔の場所を分かりやすく示し、市民へ丁寧の説明するよう要望する。

ほか、下水汚泥の有効活用、水産物の陸上養殖について質問した。



要 健康増進を人口減少対策の中核に位置付け、※プレコンセプションケアと未病改善を一体的に本市独自の施策として推進・発展させてほしい。

答 第5期健康増進計画でライフステージ別に推進し、未病センターで青年期も対象に取り組む。

問 出生減と死亡増に歯止めを

出生数は平成22年の1260人から令和7年652人へ激減している。死亡数は1296人から1996人へ増え、特に2年以降急増し、高齢化だけでは説明できない。社会増でも自然減が上回れば総人口は減り、活力は失われる。予防に積極的な自治体では死亡率の上昇が抑えられている可能性もある。特に若い世代の健康づくりをどう強化するか。



中村 知也
(市政会)



要 企業のメリットも多いため、周知することで市内の人手不足の企業と働きたい子育て世帯とのマッチングを推進してほしい。

答 子育てサポート企業として、「くるみん認定」の取得に取り組む企業を支援するとともに、認定企業については、市ホームページを通じて確認できるようにしていく。

問 子育て世帯の就労について

子どもが小さいうちは、子どもの生活に親が合わせられるよう、柔軟な働き方を選択できることが幸せな子育てと考える。本市が行う子育て世帯就職相談会と併せて、厚生労働省が行う子育てサポート企業の認定制度である「くるみん認定」の申請を推進してほしいと考えるがどうか。



田中 めぐみ
(とにもつくる秦野)





一般質問 (つづき)

一般質問は4面から5面にも掲載しています。
(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載。)
※要望は「要」と記載しています。

要 電子投票、共通投票所、移動投票所、軒先投票など多くの先進事例がある。ターゲットを絞って効果検証し、個々の事象を積み上げてほしい。ほか、OMOTANコインの収支予測と事業評価について質問した。

答 衆院選でも全体の48%を占め、投票環境の充実が重要と考える。まずは既存の投票所を基本に、生活動線付近での期日前利用の周知に努める。

問 秦野市長選挙において、期日前投票は全体の34%を占めている。投票所を各駅前連絡所へ設置してはどうか。

答 距離は3キロ未満、駐車場は37か所中24か所に設置している。



大塚 毅
(市民創和会)



要 デジタル技術やビジネスツールの活用は重要な視点であると認識している。先進自治体の事例や費用対効果、運用面の課題などを踏まえ、全庁的な進捗管理や評価の標準化に資する手法やツールについて調査・研究を進めるとともに、本市の実情に応じて活用可能なものから段階的に取り入れていきたい。

答 事務事業実施プロセスにおけるPDCAサイクルの実効性について

PDCAサイクルを回す際に、プロセスや論理的整合性レベルの属人化を防ぐため、行政運営におけるサイクルや評価指標基準の標準化が可能になるような、全庁的な事務事業の統一的手法の導入や、ツールを活用する考えはあるか。



大野 祐司
(市民創和会)



第3回(9月)定例会議日程						
日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	1	2	3	4	5
			開議・提案説明 9:00~		議案審議 9:00~	
6	7	8	9	10	11	12
		予算決算 常任委員会 (R7決算・総務・歳入) 9:00~	予算決算 常任委員会 (R7決算・総務) 9:00~	予算決算 常任委員会 (R7決算・文教福祉) 9:00~	予算決算 常任委員会 (R7決算・環境都市) 9:00~	
13	14	15	16	17	18	19
	総務 常任委員会 9:30~	文教福祉 常任委員会 9:30~	環境都市 常任委員会 9:30~	議会 運営委員会 9:30~	一般質問 9:00~	
20	21	22	23	24	25	26
					一般質問 9:00~	
27	28	29	30	10/1	2	3
			予算決算常任委員会 委員長報告・議案審議・散会 9:20~			

※朱書は本会議場で行われるものです。会議の日程、時刻は変更することがあります。

中村知也議員に辞職勧告

令和8年2月19日に市議会議員6人から、また、3月3日に市議会議員2人から、中村知也議員のSNSの投稿内容に対する調査請求書が提出されました。

「秦野市議会議員政治倫理審査会」における6回の審査結果を踏まえ、6月23日に議長が中村知也議員に対し、次のとおり措置を行いました。

2月19日付けの調査請求内容

- 自身のSNSにおいて、特定の秦野市議会議員の実名を挙げ、推測を前提とした動機や倫理性に踏み込んだ断罪の評価が含まれている点について、政策論争の範囲を越え、議員間の人格的対立と受け止められ得る内容を拡散させたこと

3月3日付けの調査請求内容

- 自身のSNSにおいて、特定の神奈川県議会議員を侮辱する内容の書き込みを行い、公衆の閲覧に供したこと

<措置内容>

2件の調査請求はいずれも、「市民全体の代表者としての品位と名誉を損なうような一切の行為を慎む」という政治倫理基準に違反する行為であると認定し、中村知也議員に対して辞職勧告を行いました。

※詳しくは、市議会ホームページに掲載しています。



詳しくはこちら

秦野市議会からのお知らせ



議会だよりの感想、お待ちしています



「声」の議会だよりに配信しています



会議録、公開しています



議会の話、出前します



所管事務調査

先進市の視察に行ってきました!

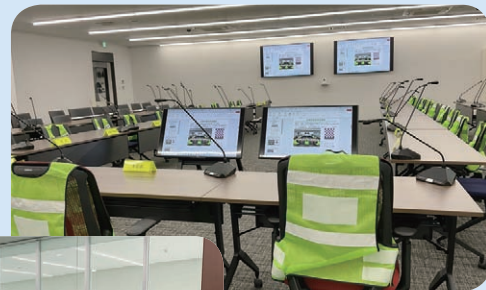


詳細の報告書はこちらから➡



総務常任委員会

- ① 広島県呉市 スマートシティの推進
- ② 広島県竹原市 「ALL竹原きらっと未来創造会議」の取組
- ③ 岡山県倉敷市 倉敷市庁舎等再編整備事業



倉敷市の災害対策本部



原 委員長

岡山県倉敷市では、公共施設の複合化と防災拠点の整備を視察しました。水害に備えた免震構造や常設の災害対策本部室など、実践的な体制が印象的であり、防災機能の強化と市民サービス向上を両立する視点は、本市の施設再編時にも大いに参考となるものでした。



文教福祉常任委員会



多世代交流施設「桑名福祉ヴィレッジ」



- ① 三重県桑名市 多世代交流施設「桑名福祉ヴィレッジ」
- ② 滋賀県野洲市 保育人材バンク運営事業・保育人材確保対策事業
- ③ 滋賀県草津市 こども・若者計画に基づくこども若者支援施策

三重県桑名市では、民間企業のノウハウを生かし、保育園や老人ホームなどを集約して地域全体で支え合う多世代交流施設の仕組みを現地調査しました。世代を超えて誰もが安心して暮らせる温かい居場所づくりを進める上で、大変学びの多い視察となりました。



川口 委員長

環境都市常任委員会

- ① 大阪府茨木市 茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」
- ② 大阪府吹田市 江坂公園 (Park-PFI)
- ③ 兵庫県姫路市 ウォーカブル推進計画



文化・子育て複合施設「おにクル」



横山 委員長

大阪府茨木市で視察させていただいた文化・子育て複合施設「おにクル」では、100回を超える対話で市民の皆さまと共に施設を創り上げた点に感銘を受けました。現在検討中である本市の多世代交流施設の整備でも、市民の皆さまが主体的に関われる機会の創出が重要であると感じました。



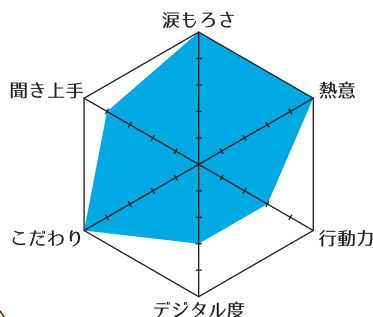
議会報編集委員より 編集委員を紹介します!!



左から、田中委員、大塚委員、間地委員
(はだのスポーツビレッジで撮影)

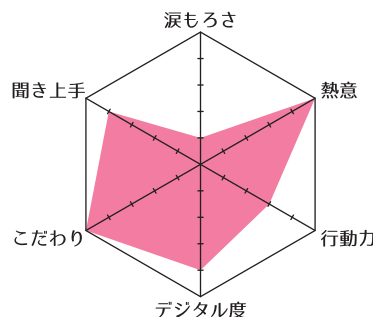
市民の
皆さまへ
一言!

田中 めぐみ 委員



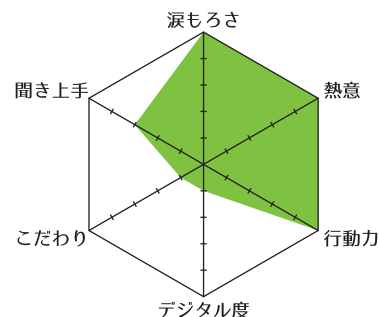
子育て、自立、起業、さまざまな人生の〴〵はじめの一歩、に寄り添います!

大塚 毅 委員



みんなの「こうしたい!」をカタチにする「新しいアイデア」を集めています。

間地 薫 委員



「まちかで行動あなたの声をカタチに!」日々精進してまいります。

今後も定例会議以外の議会活動も皆さまに広く知ってもらえることができる議会だよりの作成を目指します。

6月定例会会議の議決結果

6月定例会会議では、議案8件が原案可決、1件が同意、陳情1件が採択となりました。
※賛成全員または賛成なしの議案等を上段に、賛否が分かれた議案等を下段に記載しています。
(資料は、秦野市議会ホームページでご覧いただけます。)



≪賛成全員または賛成なしの議案等≫

区分	番号	件名	採決の結果
市長提出議案等	第31号	秦野市地域型保育事業の設備及び運営の基準を定める条例等の一部を改正することについて	可決
	第32号	工事請負契約の締結について（保健福祉センター空調設備更新工事）	可決
	第34号	動産の取得について（水槽付消防ポンプ自動車1台の購入）	可決
	第37号	秦野市教育委員会教育長の選任について	同意
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当である旨答申
	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当である旨答申
陳情	令8陳情第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	趣旨了承
	令8陳情第3号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情書	不採択
	令8陳情第5号	「司法修習生採用選考審査基準」に国籍条項を設けることを求める意見書提出に関する陳情書	不採択
報告案件(12件)		一般会計継続費繰越計算書／一般会計繰越明許費繰越計算書／水道事業会計継続費繰越計算書／公共下水道事業会計継続費繰越計算書／公共下水道事業会計予算繰越計算書／秦野市土地開発公社の経営状況／公益財団法人秦野市スポーツ協会の経営状況／専決処分の報告（工作物の設置管理瑕疵に係る損害賠償、交通事故に係る損害賠償、市道の管理瑕疵に係る損害賠償、市税条例及びアメリカ合衆国軍隊の構成員等が所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の賦課徴収の特例に関する条例の一部改正、国民健康保険税条例の一部改正）	

≪賛否が分かれた議案等（※議長は採決には加わりません。）≫

○：賛成 ●：反対 退：退席

区分	番号	件名	採決の結果	市民創和会						市政会			ともにつくる秦野		公明党		はだの清流クラブ		無所属						
				八尋伸二	横溝泰世	阿蘇佳一	大野祐司	福森真司	小山田良弘	大塚毅	小菅基司	風間正子	川口薫	中村知也	古木勝久	原聡	桑原昌之	田中めぐみ	横山むらさき	中村英仁	間地薫	今井実	高橋文雄	相原学	吉村慶一
市長提出議案	第30号	はだのスポーツビレッジ条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第33号	工事請負契約の変更について（矢坪沢水路整備工事・第3工区）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第35号	指定管理者の指定について（はだのスポーツビレッジ）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	第36号	令和8年度秦野市一般会計補正予算（第1号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	●	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	●
動議修正	第36号	令和8年度秦野市一般会計補正予算（第1号）に対する修正動議	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	退	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
陳情	令8陳情第4号	子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
委員会提出議案	第2号	教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

広告

医療法人財団 青山会 みくるべ病院

標榜科：精神科・神経科・内科・歯科【276床】

◎依存症専門医療機関【アルコール依存・薬物依存】

※精神科往診対応（要相談）

住所：神奈川県秦野市三廻部948番地

電話：0463-88-0266 FAX：0463-87-3591

URL http：//www.bmk.or.jp/mikurube/

広告

秦野市農業協同組合

【はだのじばさんず】

◆住所：秦野市平沢477

◆電話：0463-81-7707

◆営業時間：9：00～17：00

◆定休日：毎月第2火曜日(7月・8月を除く) 1/1～1/3

【Sun's Gelato サンズジェラート】

◆住所：秦野市平沢477

◆電話：0463-83-0303

◆営業時間：4～10月-9：30～17：00 11～3月-9：30～16：00

◆定休日：毎月第2火曜日(7月・8月を除く) 12/31～1/3